

暑さに負けず汗輝く！園芸系列・食農系列の夏休み報告



■シクラメンのスペーシング作業

農業における「スペーシング」とは、育苗の際などに、成長した苗や鉢同士の間隔を広げて並べ替える作業のことをいいます。こうすることで、すべての葉に均等に日光をあてることができたり、風通しもよくなったりします。11月下旬ごろから美しい花を咲かせるために必要な作業です。



■イチゴ栽培のための準備

春野高校のイチゴ栽培は、写真のような高設栽培で行っています。9月中旬ごろに定植を始めるために、夏に様々な準備をします。写真は、太陽熱により消毒した土壌とパインバークを敷き詰める作業を行っています。暑いハウスのなかでの作業のうえ、土埃があり、全員マスクをつけています。苗を予冷库に入れ、花芽分化を人為的に促す作業も行いました。こうすることで、収穫時期を早めることができます。



■稲刈り

8月20日に稲刈りを行いました。この日は食農系列と園芸系列の3年生のうち「農業機械」を選択している生徒が、一人ずつコンバインに乗って運転しています。「初めて稲刈りしたけれど、貴重な経験で楽しかった。」「運転をするときに刈り取り部を稲にあわせるのが難しくて、先生に調整してもらいながらなんとかできた。」「お米の価格のニュースもあるけど、こんなに苦労して育てている農家さんは本当に大変だと思う。」といった感想が聞かれました。



■農業クラブ全国大会に向けて

7月30日に徳島県城西高等学校で「撮影技術講習会」と「生徒実行委員会」が開催されました。講習会では、取材記録系の生徒たちが一眼レフカメラの使い方などを教わりました。生徒実行委員会では、大会に向けての最終確認と藍染体験を行い交流を深めました。大会まであとわずかです！